

国立研究開発法人  
国立国際医療研究センター病院

National Center for Global Health and Medicine  
http://www.ncgm.go.jp/

発行 連携医療ネット

住所 東京都新宿区戸山1-21-1

代表 TEL 03-3202-7181

FAX 03-3207-1038

地域医療連携室

直通 TEL 03-3202-8066

FAX 03-3202-1003



# 連携医療NEWS

## Vol.41 11月号

### 診療科長あいさつ

#### 膠原病科診療科長

金子 礼志



2016年4月1日付で膠原病科診療科長を拝命致しました金子礼志（かねこひろし）です。専門分野はリウマチ・膠原病です。リウマチ科と標榜している医療機関においては、整形外科を専門としている医療機関もおりかと存じますが、当診療科は内科医の立場で診療をしております。膠原病は関節リウマチや全身性エリテマトーデスをはじめとする自己免疫疾患であり、その多くが難病です。患者さんやご家族の理解と協力が求められる疾患です。診療は、全身を横断的に診療する必要がある為、さまざまな診療科との連携が必要となります。院内のみならず院外、地域医療連携が求められます。これから誠心誠意、この地域におけるリウマチ・膠原病の診療に努力させていただきます。なにとぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

私は平成元年順天堂大学医学部を卒業し、国立国際医療研究センターの前身である国立病院医療センターにて初期研修をいたしました。初期研修後は、東京都立墨東病院、順天堂大学膠原病科にて診療・研究を行い、学位取得しました。米国留学後、日本医科大学付属病院リウマチ科にて整形外科的な視点でのリウマチ診療を学び、順天堂大学浦安病院、国立国際医療研究センター国府台病院を経て、現在の職につきました。

#### 内容

- ・診療科長あいさつ . . . . . 1
- ・医長あいさつ . . . . . 2
- 看護通信
- ・医療連携室・総合医療相談室の紹介 . . . . . 3
- 旬の味覚
- ・連携登録医のご紹介 . . . . . 4

サケが生まれ育った川にもどるかのように、再びこの新宿区戸山の地に戻ってまいりました。先日、私が初期研修医時代に診断した全身性エリテマトーデスの患者さんに25年ぶりに出会い、再び診療することとなりました。何かの縁を感じております。

また、国際協力機構東京国際センターにて研修されております外国人の方々の診療にも関わってきました。地域医療の先生方におかれましては、首都圏に住まわれている外国人の方々の診療でお困りのことがあるかもしれません。当科に限らず、どうぞ当センターに患者さんをご紹介して戴ければ幸いです。

診療体制は私を含めまして3名の常勤医師（全員、日本内科学会総合内科専門医と日本リウマチ学会専門医を取得）と若いレジデント・診療登録医5名の計8名です。自由活発な討議を通じて、大学病院にはみられないフットワークの良さを活かした診療を心がけております。全国的に見ても豊富な症例と経験に裏付けされた診療を行っております。リウマチ膠原病疾患は慢性疾患ではありますが、合併症である肺炎や脊椎圧迫骨折など、急性期医療を要するものも少なくありません。実際当科の入院患者の約30%は緊急入院です。診断がつかない、治療が難治であるなど、通常の臓器診療では解決できない患者さんがおりましたらご紹介下さい。

患者さんのみならず家族により添い、丁寧な説明に基づいた安全で質の高い医療の提供に今後とも努めさせていただきます。どうぞ私たち膠原病科を宜しくお願い申し上げます。

## 膠原病科医長

山下 裕之



2016年6月1日付で膠原病科医長を拝命いたしました山下裕之です。

私は大学卒業後、神経内科・呼吸器内科を主な専門分野とする大学医局に属し、当初、沖縄県立中部病院短期研修を含め、大学関連病院で勤務していました。その間に多くの膠原病疾患に出会い、関心を抱き始めましたが診断はある程度出来ても治療についてしっかり専門施設で学ぶ必要性があると痛感し、また、多臓器障害を起こしうる膠原病疾患に対応するには各臓器に関するより多くの一般内科としての知識と経験が必要と考え、2003年に上京し、当院（国立国際医療センター）総合診療部レジデントとして勤務し始めました。そこでの3年間で腎臓内科を中心に感染症科や放射線診断学など様々な診療科をローテーションし、多くのことを学んだ上で、2006年に当科所属希望し、臨床研修指導医として名著「膠原病診療ノート」の著者である三森明夫先生に師事するようになりました。その後、2008年

に当科厚生労働技官を拝命し、正式に当科スタッフとなり、三森先生の下で膠原病についてさらに多くのことを学び、かつ経験させて頂き、本年より医長として勤務させて頂くこととなりました。これまで積み上げた知識・経験を同様の患者さんに出会ったときに多くの医師に役立てて頂こうと思い、現在まで多数の論文（筆頭・指導論文約40本、共著約30本）を書き、さらに「膠原病診療ノート」の姉妹本として難治膠原病症例集をベースとした「膠原病徹底考察ガイド」という約500頁に渡る書籍を小生が編著で日本医事新報社より本年11月下旬に出版予定です。この小生の「膠原病徹底考察ガイド」と師匠である三森先生の「膠原病診療ノート」を基礎として当科の優秀なスタッフと共に4000例以上に及ぶ入院症例病歴データベースによる当科オリジナルの経験に基づいた診断治療を行えば国内でも最高峰の膠原病医療が可能と自負しております（<http://www.hosp.ncgm.go.jp/s008/0080.html> 参照）。是非、関節リウマチをはじめ膠原病が疑わしい患者さんがいらっしゃいましたら御遠慮なく御紹介下さい。これからも少しでも連携医の先生方のお役に立てるように精進して参りたいと思いますので何卒、国立国際医療研究センター膠原病科を宜しくお願い申し上げます。



## 看護通信

## 人間ドックセンター

第二外来師長 野中 千春

平成28年5月に、広々とした人間ドック専用検診スペースを備えた人間ドックセンターをオープン致しました。お忙しい方のために半日で精密な検査を行い、当日に結果説明を行う「日帰りドック」とリフレッシュを兼ねてゆっくりと検査を受けたい方のための「宿泊ドック」をご用意しております。さらに今般、受診者様のニーズにお応えし「日帰りドック」と大腸内視鏡検査を同日で行える「日帰り入院」コースを新設し、好評価をいただいております。今後ともホームドクターと連携し、地域の方々の健康維持・増進に尽力する所存です。



## ◇◇◇年末年始の休診のお知らせ◇◇◇

年末年始の休診は、12/29～1/3までとなります。

なお、12/29夜9時～12/30夜9時は、電子カルテ切替によるシステム停止のため、診療への支障・遅延が予想されます。

諸事情で受診する方につきましては、12/29夜9時～12/30夜9時までの受診は、なるべくお控えくださいますようお願いいたします。



# 医療連携室・総合医療相談室の紹介

医療連携室及び外来運営・相談支援室では、看護相談、社会福祉相談、患者相談、地域医療連携等様々なケースの相談を医師2名・看護師3名・ソーシャルワーカー7名・事務4名で対応しており、主な業務内容は以下の通りです。

## (1) 看護相談

- 1) 退院に関する相談・調整
- 2) 療養に関する相談
- 3) 在宅医療機器に関する調整
- 4) 在宅医と訪問看護ステーション、介護関係者との連絡調整

## (2) 社会福祉相談

- 1) 経済的問題の解決・調整
- 2) 療養中の心理的・社会的問題の解決・調整
- 3) 受診・受療援助
- 4) 退・転院(入所)援助
- 5) 社会復帰援助
- 6) 地域支援活動

## (3) 患者相談

当センターへのご意見、ご要望等の相談

## (4) 地域連携

- 1) 地域医療機関からのFAX診療予約
- 2) 紹介患者の報告書郵送作業
- 3) 病院検索
- 4) 連携医の登録



## 旬の味覚 ごぼう

### 管理栄養士

### 横溝 彩



日本では根菜としてよく知られているごぼうですが、実は世界中で食用にしているのは日本と韓国だけです。旬は11月から1月です。

ごぼうには食物繊維のヘミセルロースとイヌリンに豊富に含まれています。ヘミセルロースは不溶性の食物繊維で便秘解消に効果があります。イヌリンは水溶性の食物繊維で血糖値の上昇を緩やかにしたり、悪玉コレステロールを排出する効果があると言われています。

ごぼうは酢水につけてアク抜きをすると、調理の際に黒く変色しにくくなりますが、ごぼうのアクは抗酸化作用の強いクロロゲン酸で、動脈硬化の予防に効果があると言われており、酢水にさらすのは5分程度にすると良いでしょう。

また、水分が減ると鮮度が落ちるため、泥つきで購入するのがおすすめです。

ごぼうは炒めるとシャキシャキとした食感を楽しむことができます。煮物や鍋に入れるとやわらかく仕上がりに、味がしみてよりおいしく食べられます。

### ○材料○ (2人前)

ごぼう	1本 (100g)
酢	少量
牛肉(もも)	150g
*酒	大さじ2
*砂糖	大さじ1
*みりん	大さじ1
だし汁	100cc
しょうゆ	大さじ1
油	小さじ1
刻みネギ	適量
1人当たり	210kcal 塩分1.5g



### ○作り方○

1. ごぼうはささがきにして、酢水に5分つけておく。(切るのが難しい方はピーラーを使用すると幅広ですが簡単。お手軽にスーパーのささがきや、金平用の水煮も利用できる。)
2. 牛肉は薄くひと口大に切る。
3. 鍋に油を熱し、牛肉を炒める。色が変わったら水切りしたごぼうを入れる。
4. \*の調味料を入れて、ごぼうがしんなりするまでしっかり炒める。
5. だし汁としょうゆを加えて、煮汁がなくなるまで弱火で煮る。
6. 皿に盛り、ネギをかけたら完成。

# 連携登録医のご紹介

## 西戸山クリニック

### 院長 原 武史 先生



診療科 内科、循環器科、小児科、禁煙外来  
 住所 新宿区百人町3-7-8 原ビル2階  
 電話 03-5337-7501  
 F A X 03-5337-7502  
 診療時間 月・水・金 9:00~13:00  
 14:00~19:00  
 木・土・日 9:00~13:00  
 休診日 火曜日・祝日  
 交通 JR総武線「大久保駅」  
 JR山手線「新大久保駅」  
 JR山手線「高田馬場駅」

ホームページ

<http://www.e-doctors-net.com/shinjyuku/kousei/>



当院は平成25年6月に同じ百人町3丁目にあった厚生中央医院より200m移動し開設いたしました。

私自身も百人町3丁目に住んでおり、住まいと職場は分かれておりますが、いつもクリニックの近隣で生活し、地区のお祭りや防災訓練には積極的に参加しております。

患者さんの生活や活躍をクリニック以外でも見られる事は、診療にも役立っております。

開業まで東京医科大学循環器内科に在籍し、循環器全般に研鑽を積んで参りました。また循環器疾患だけでなく生活習慣病全般の診療、総合診療にも力を入れておりました。開業後は専門の内科、循環器内科に加え、小児科の診療も行っております。

外来だけではなく、訪問診療や特別養護老人ホームの配置医も行い、終末期まで患者さんを診ております。新宿区医師会に在籍しており、学術委員や大久保支部責任者になっており、いつも医療連携の会でも医療センターの先生方には、お世話になっております。

新宿に住んでますと、大病院は多数ありますが、夕方や土日に、ちょっとした事で受診するクリニックがなかなかなく、夕方や土日に大人も小児も受診できるクリニックを作りたいと、平成17年の厚生中央医院開院以来、日曜日にもクリニックを開けております。

医療センターには、小児重症例・悪化例、多疾患を抱える高齢者、海外渡航後感染症、寄生虫症、どこに相談してよいか判らないような方、など様々な患者さんを紹介させて頂いております。その度に詳細かつ丁寧なお返事を頂きありがとうございます。また医師会での学術講演会での症例報告など地区医師会活動にも積極的に参加いただき、本当に頭の下がる思いです。

以前インフルエンザ流行期の日曜診療中に「医療センターに電話したら、そちらを紹介された」と言われて見られた患者さんがおりました。センターの先生方に認めて頂いたように感じ大変嬉しく思いました。

これからも難しい患者さんをお願いすることが多いと思いますが、何卒宜しくお願いいたします。

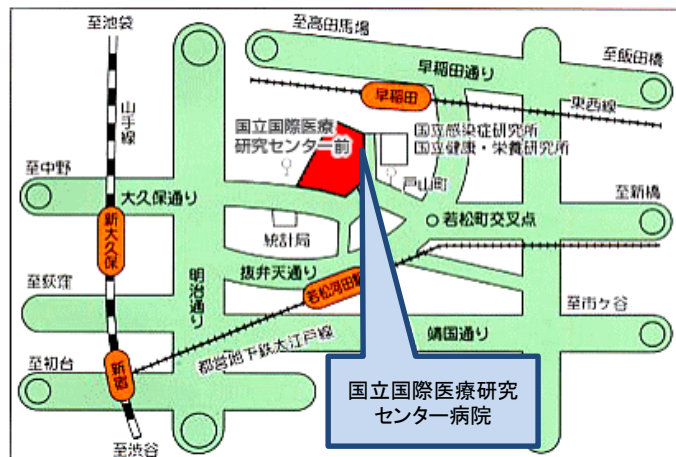
外来診療時間 8:30~17:15  
 ・初診受付 紹介状が無い場合 8:30~11:00  
 紹介状が有る場合 8:30~14:00

ただし、形成外科、産婦人科、神経内科、整形外科、精神科、リハビリテーション科の6科および結核(疑いも含む)については「11時までの受付」となっています。

・休診日 土・日・祝日・年末年始

### アクセス

- ・都営地下鉄 大江戸線「若松河田駅」より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「早稲田駅」2番出口より徒歩15分
- ・JR大久保駅又は新大久保駅より都営バス「新橋」行 国立国際医療研究センター前 下車
- ・新宿駅西口より都営バス「医療センター経由女子医大」行 国立国際医療研究センター前 下車



国立研究開発法人

国立国際医療研究センター病院

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038 ホームページ <http://www.ncgm.go.jp/>

